

科目名	仏教と生命倫理					単位	2.0
担当教員	田代 俊孝						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1403

●授業のテーマ  
生命倫理を考える

●到達目標  
生命倫理についての現状と何が問題かを考え、それぞれの死生観にたつて個々のケースについて自分はどう判断するかを考える。

●学習内容(授業概要)

遺伝子治療・移植医療・終末医療・生殖医療・再生医療・薬の治験など医療における生命倫理、環境における生命倫理、福祉における生命倫理など、さまざまところで生命倫理がとわれている。この問題は、専門家だけの問題でなく、市民一人ひとりの問題である。専門家はむしろ、問われる立場である。優生主義化、ビジネス化の中でいのちの尊厳が失われていく。この問題を仏教の価値観を中心に考えてみたい。医学部の倫理委員会で課題になっていることをビデオなどを使って、リアルタイムに考えていきたい。

●学習内容(授業計画)

自分の場合、家族の場合生命倫理をどう考えるか

《後期》

1. 生命倫理とは(インフォームドコンセント・人権・倫理基準)
2. 仏教の死生観
3. 生命倫理委員会の現状
4. 脳死・臓器移植(ビデオ使用)
5. 脳死・臓器移植の問題点
6. 安楽死・尊厳死
7. 安楽死・尊厳死の問題点(ビデオ使用)
8. リビングウィルと安楽死裁判
9. 遺伝子・DNA・ゲノム解析と情報管理
10. 遺伝子治療の倫理的課題(ビデオ使用)
11. 遺伝子の選択と優生思想
12. 生命操作・出生前診断・生殖補助医療の課題
13. 代理母・代理出産
14. 薬の臨床試験と薬害(ビデオ使用)
15. まとめ

自分の死生観に基づいて

●準備学習・事後学習の内容

テキストをよく読み、下調べをしておくこと。  
単元のテーマごとに自分の考えをまとめる。

●成績評価方法・基準

授業内試験（7割）小レポート・平常点（3割）

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『仏教とビハラー運動－死生学入門』、出版社：法蔵館、販売先：田代研究室、備考：¥2600

●参考文献／その他

やさしく語る仏教と生命倫理 法蔵館 ¥400

いのちの未来生命倫理 法蔵館 ¥1400

●履修上の注意

授業中に配布した資料は綴じて保存しておくこと。